

しんじゅくコール ☎03-3209-9999
土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時~午後10時
FAX 03-3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックスをご利用ください。

★広報新宿5月25日号は、8ページではなく4ページでの発行となります。

新型コロナウイルス感染症と 向き合いながら 奮闘する 医療従事者へ エールを

新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、日々力を尽くしている医療従事者へのメッセージが多数寄せられています。今回は、医療従事者を応援し、感謝を伝える取り組みの一部を紹介します。

【問合せ】区政情報課広報係(本庁舎3階) ☎(5273)4064・FAX(5272)5500へ。

感謝のメッセージを横断幕で

余丁町で店舗デザインを中心としたディスプレイ会社を経営する伊藤博通さんは、医療従事者など、新型コロナウイルス感染症に対して最前線で働く全ての方への感謝を横断幕などで表現しています。

ご自身やご家族が日頃から近隣の国立国際医療研究センター病院や東京女子医科大学病院にお世話になっていることから、自分ができることは何かを考え、4月中旬から自宅や勤務先の事務所にメッセージを掲げています。



伊藤博通さん

この取り組みに賛同してくれた友人の会社に、同じ横断幕を掲げてもらうなど、エールの輪は広がっています。



現場の職員に 手作りのフェイスシールドを



◀目・鼻・口を飛沫から守ります

区内在学の小学6年生・清水雄基さんから、区保健所に手作りのフェイスシールドをいただきました。感染のリスクと向き合いながら新型コロナウイルス感染症に立ち向かう職員が、感染を予防できるようにと、10個のフェイスシールドを丁寧に作ってくれました。



自宅の3Dプリンターで家族みんなで作りました。保健所の皆さんに「ありがとうございます」の気持ちが伝わればと思います。



清水雄基さん

寄付されたマスク等の物資を 医療従事者へ

個人・企業・団体から新宿区に、マスク・防護服・アルコール消毒液などの寄付のご協力をいただいています。ありがとうございます。中には、「起業時に日本人に大変お世話になった」とおっしゃる中国・無錫市の方からの60,150枚のマスクの寄付もありました(下写真)。寄付されたマスクには、「同じ空のもと、ともに頑張ろう」というメッセージが込められた漢詩が添えてありました。



▲寄付いただいた消毒液

区では、皆さんからいただいたマスク等を医療現場で活用してもらうために、新宿区医師会に物資を送付しました。また、区内福祉関係施設などでもご活用いただいています。

【物資の寄付に関する問合せ】危機管理課危機管理係(本庁舎4階) ☎(5273)4592・FAX(3209)4069へ。

ライトアップで表す感謝の気持ち

3月下旬に英国で始まり世界に広がった医療従事者への感謝の気持ちを表すブルーライトアップ。区役所第1分庁舎に設置しているLEDライトを使い、午後6時から壁面を青色にライトアップし、新型コロナウイルス感染拡大防止に携わる医療従事者の方々の感謝と賛美の気持ちを伝えています。



区主催等イベントの中止・延期、区施設等の休館等の対応を
新型コロナウイルス感染症の収束が認められるまでの間延長します

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月10日まで原則中止・延期としていた区主催等のイベント、区施設等の休館等の対応を、新型コロナウイルス感染症の収束が認められるまでの間延長します。最新の情報は、新宿区ホームページまたは各主催者・各施設に直接、ご確認ください。